



竹迫城惣構え跡

- 1 横町旭橋の惣堀
竹迫の横町を流れる鶴川はかつて「シンボリ」と呼ばれた惣堀の跡です。下流にある竹林には今も土塁が残っています。
- 2 「バヤンボリ」の惣堀
「バヤンボリ」と呼ばれる堀が竹林に残っています。南側の堀は細い地割が堀の名残です。往昔往道の道路を囲う形となっています。
- 3 木瀬の惣堀
木瀬遺跡の看板がある竹林には、堀と土塁を見ることが出来ます。この付近から南側へ分かれる堀も残っています。
- 4 木瀬「ジンヤマ」の惣堀
「木瀬」に残る遺構は、現在、道路となっています。「ジンヤマ」の地名が残っており、「ナカシンボリ」では、3重の堀をみることが出来ます。
- 5 田久保の惣堀
「掘土」の遺構は、道路となっており、これに続く北西隅の惣堀です。竹林の堀と土塁は、良く残っています。堀の規模は、幅約5m、深さ約4m、土塁の幅は、約4mです。
- 6 西光寺の惣堀
竹林に幅約1.5m、深さ約8mの堀が良く残っています。惣構えのなかでは大規模です。

竹迫城城下に残る文化財

今から500年前、合志郡の拠点であった竹迫城の城下には、多くの文化財があります。竹迫城絵図には、城を中心とした城下の館、町、村、社寺、田畑などが描かれています。これらの城下を囲う外堀は、「惣構え」という防御施設です。その規模は、東西約1.7キロ、南北1.3キロ、周囲約5.9キロに及び、現地に今も一部に残っています。造られたのは、戦国時代末の島津戦の頃に合志氏が築いたと考えられます。戦国時代の全周する惣構えとしては、九州で唯一の事例であり、貴重な遺跡です。

竹迫城城下の集落の原形は、中世まで遡ると考えられ、近世になると細川藩の竹迫手永の中心である会所が竹迫町に置かれ賑わいました。この城下の地域には、縄文時代以来の遺跡や合志三十三観音、竹迫五山の寺院跡、神社などもみることが出来ます。



竹迫城付近の文化財

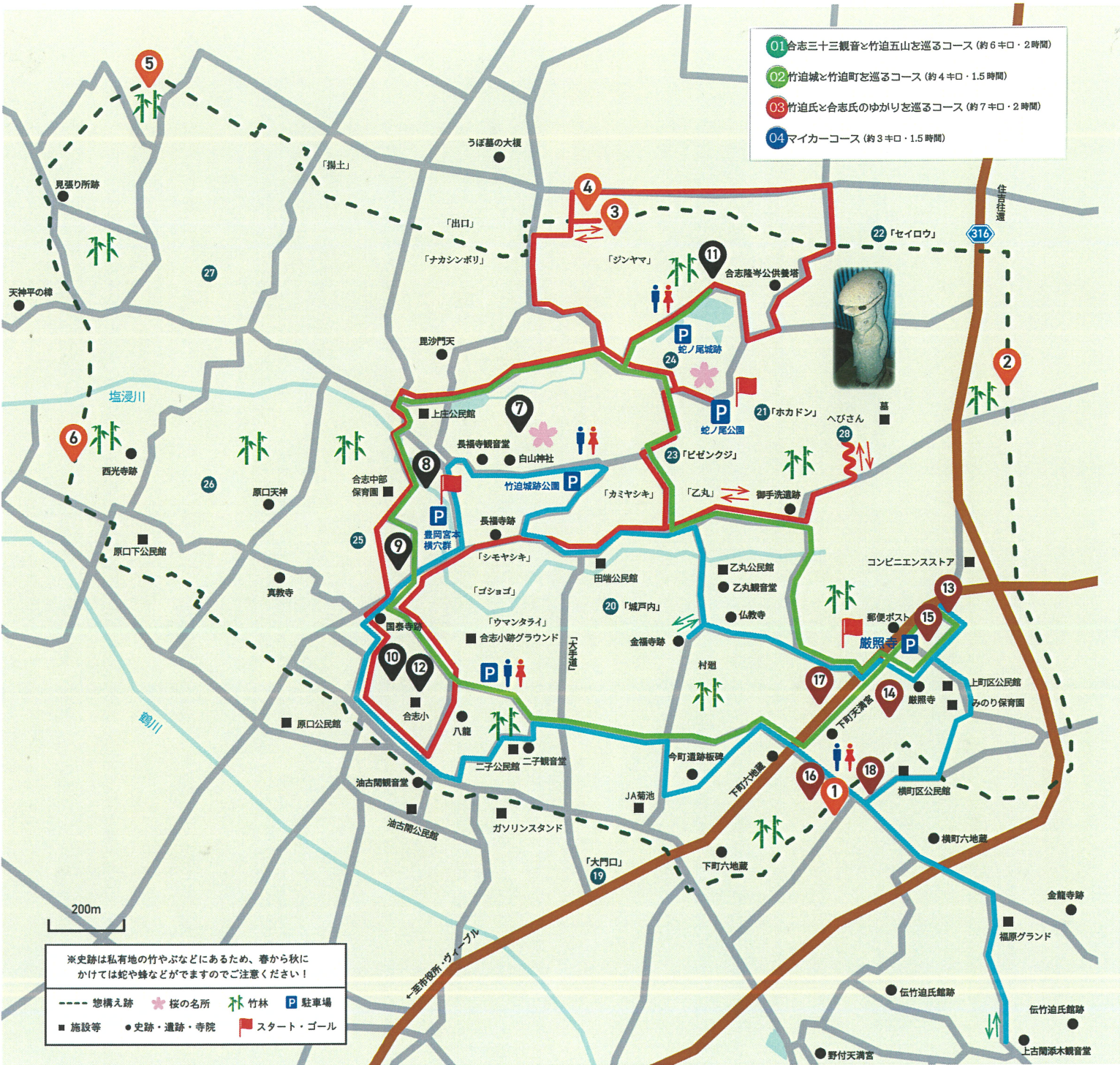
- 7 竹迫城跡
かつてあった合志郡の中心となった拠点城郭です。標高92m。春に桜が咲き、6月にホテル祭り、秋に城山祭りが行われます。
- 8 豊岡宮本横穴群
平成15年、工事中に古墳時代のお墓12基が発見されました。調査では、人骨31体と副葬品が多数出土しています。
- 9 竹迫日吉神社
祭神は大山咋神と建甕電命で、正治2(1200)年の竹迫氏が建立したと伝わります。社殿は、宝永年間(18世紀初め)に再建されたと伝わります。
- 10 清寿院跡(清寿院観音堂)
竹迫五山の1つ。天文年間(16世紀前半)に再興されたとみられ、合志城主の老母清寿尼が建立したと伝わります。現合志小学校の敷地もかつては寺域であった可能性が発掘調査で分かりました。
- 11 虚空蔵さん
南壳繁盛、理財の仏としての信仰があり、元日と1月13日が祭日です。ここで5円を借りて翌年2倍の10円を返すという風習があります。
- 12 陣ノ内遺跡
平成17年、合志小学校の建設に伴い発掘調査が行われました。弥生時代の環濠や竪穴が出土しました。また、竹迫城絵図の「竹迫氏の始祖此処に屋形を構へ居る」とあるように15世紀の館を囲う堀跡が確認されました。

城に関わる地名

- 19 「大門口」
竹迫城に通じる大手道の南門にあたります。
- 20 「城戸内」
竹迫絵図には、「大手前地形高く築し」とあります。また、重臣であった合志一博が合志氏の家臣が多くなり、縄張りをしたとあり、この頃に惣ボリ（惣構え）が造られたと書かれています。
- 21 「ホカドン」
「客殿」があった可能性のある地名です。天正12(1584)年に島津氏の肥後北部制圧から三池・山鹿氏が合志氏を頼って竹迫にいた記事があり、関連があるかもしれません。
- 22 「セイロウ」
「井欄」(物見櫓)があった可能性を示す地名です。北東の位置にあり、往昔往道"を抑える場所になります。北西にも「見張り所跡」があります。
- 23 「ビゼンクジ」
かつて領主の館があったと伝わっています。
- 24 蛇ノ尾城跡
絵図には、竹迫城の別名が「蛇ノ尾城」とも書かれています。地形などから城跡の可能性がありますが、自然が残る遺地があります。
- 25 原口新城跡
原口新城跡は、竹林に十字の堀と土塁が残っています。15世紀に竹迫の城館として16世紀に合志氏が一部改修し、館として使用されていたと考えられます。また、日吉神社の裏には、足手荒神が祀られています。
- 26 天神屋敷
天神本遺跡では、奈良時代の鏡が骨壺に納められた状態で発見されました。これらは、資料館で展示しています。竹林には堀、土塁が残っているため館跡と考えられます。
- 27 寺崎遺跡
寺崎遺跡は、標高約80mの丘陵に位置し、幅約4mの堀が残ります。城跡の可能性があり、西側には堀に囲まれた方形の区画が竹林に残っています。

竹迫町の文化財

- 13 医音寺跡
医音寺跡は、延徳年間(995~998)年と伝わり、僧侶の墓石や板碑がみられます。本市で最も古い、明治2(1493)年の板碑が残ります。
- 14 厳照寺の石造物
厳照寺の境内には、板碑が5基あり、大永5(1525)年の板碑には、僧侶を中心として130名の住民僧の戒名がみられます。
- 15 竹迫観音祭(竹迫観音堂)
毎年7月第2土曜日の夕方から行われる夏祭りです。太鼓をのせた木製の「ドラジャヤー」と呼ばれる台車を竹迫観音堂へ奉納します。
- 16 旭座跡
昭和初期に映画や芝居が行われました。建物は、大正14年のもので当時の名残をとどめています。
- 17 竹迫会所跡(電話架設記念碑)
江戸時代の竹迫手永(細川藩行政制度)の会所(役所)がここにありました。また、同敷地には昭和10(1935)年、杉原惟敬が電話架設のため総額750円(現在の1000万円程)を寄付しました。この功績を称えた謝恩之碑もあります。
- 18 大塚惟精顕彰碑
大正〜昭和にかけて県知事(板木・福岡・広島)や貴族院議員などを務めた人物です。昭和20年の広島に投下された原爆により死去されました。



01 合志三十三観音と竹迫五山を巡るコース (約6キロ・2時間)



02 竹迫城と竹迫町を巡るコース (約4キロ・1.5時間)



03 竹迫氏と合志氏のゆかりを巡るコース (約7キロ・2時間)



04 マイカーコース (約3キロ・1.5時間)

